

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	機能訓練事業	コード	02-02-02-05	担当課係	保健課健康係
事業実施期間	昭和47年～			担当者	横山 和代
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり			
	小項目	成人保健(歯科保健を含む)			
	施策	機能訓練			

事業について	
目的	虚弱老人の閉じこもり生活を予防し、いきいきとした生活をするため地域の方と連携して社会参加を促し、日常生活の維持・改善を図る。また地区に根付いた活動として自主組織を目指す。
対象 (誰のために)	虚弱老人、外出や活動の機会が少なく寝たきり予防の必要がある人
内容	地域のボランティアの協力の元に、身近な地区公民館で健康教育や健康相談を取り入れながら、参加者が近隣の人と交流を持つ。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
B型教室開催数	417回		
教室参加者数(延)	5,738人		
ボランティア数(延)	1,129人		
教室設置数	32箇所		
自主化率	100%		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	844	国県補助金等	633	直接事業費		国県補助金等	
	人件費	4,395	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	5,239	市債	4,606	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.75人		
結果指標①	教室参加者数		
結果指標名	教室参加者数		
結果指標量	5,738		
単位	人		
対前年比	—	0.00%	
事業費	5,239,000円		
単位当たりコスト①	913円		

結果指標②	自主化率		
結果指標名	自主化率		
結果指標量	100		
単位	%		
対前年比	—	0.00%	
事業費			
単位当たりコスト②			

事業の成果			
成果指標名	教室参加者数	式又は説明	B型リハビリ教室参加者数
成果指標量	17年度 5,738		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 老人保健法第12条の6、第18条
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	地域での機能訓練事業に関しては地区で定着しつつあり、自主活動も活発になってきている。今後は高齢化に向けて介護予防事業として、更なる広がりや地区への支援が求められる。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果